

有限会社橘金属製作所

2023年度環境経営レポート

(対象期間: 2023 年6月1日 ~ 2024 年5月31日)



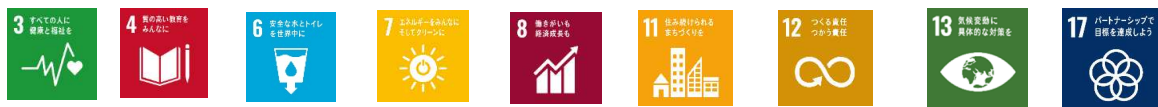
**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

作成日: 2024年8月26日
更新日:

□ごあいさつ

今年度より当社の環境経営活動においてSDGS宣言をおこなったの活動になりました。今まで以上に環境経営を意識した事業活動をおこなっていく事になり、全社員一丸となり目標を達成をめざしていきました。しかし世間ではまだまだ環境への意識は低い気がしてなりません。エコアクション21の掲げる地球環境の改善への礎となるよう企業として役立てるよう今年度もしっかりと目標に向けて取組んでいく所存です。

有限会社橘金属製作所
代表取締役 岡 敬人



環境経営方針

「もったいない」という言葉を礎として、地球資源の活用に対し、「感謝」し、金属加工を通じて地球環境に配慮した事業活動を自主的・積極的に行い、継続的に企業としての社会責務を全うできるよう努めることを有限会社橘金属製作所は誓約します。

1. 環境関連法規制等を遵守し、環境管理の向上に努めます。
2. 環境への取組みを下記の記載通りに行います。
 - ① 資源・エネルギーの効率的利用に伴い二酸化炭素排出削減。
 - ② 廃棄物の削減と水の効率的利用
 - ③ 環境負荷低減に資する商品の開発・生産・販売。
3. 事業活動を通じて地域社会貢献に努め、持続可能な組織の構築を目指して企業価値向上に努めます。
4. 全従業員が、環境経営方針を周知し、環境に配慮できるように努力していきます。

制定日：2011年6月1日
改定日：2021年9月19日
有限会社橘金属製作所
代表取締役 岡 敬人

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
有限会社橘金属製作所
代表取締役 岡 敬人

- (2) 所在地
本 社 大阪府八尾市太田新町7丁目81番地
TEL:072-949-4565
FAX:072-949-0874
tachibanagtr@cosmos.ocn.ne.jp

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 岡 敬人
担当者 岡 敬人

TEL:072-949-4565

FAX:072-949-0874

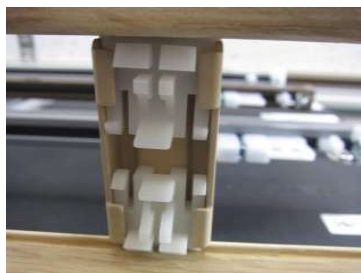
TEL:072-949-4565

FAX:072-949-0874

- (4) 事業内容

カーテンレールと関連部材の製造及び販売

主要製品: 機能性カーテンレール・インテリアカーテンレール・静音カーテンレール・ランナーその他部品



当社製造のカーテンレール(写真 左)

カーブ加工をおこなったカーテンレール(写真 中)

カーテンレールを取付けるブラケットを完全ワンタッチ化

- (5) 事業の規模

主要製品生産量 110 トン

	本社
従業員	15
延べ床面積	873

- (6) 事業年度 6月～5月

□認証・登録の対象組織・活動

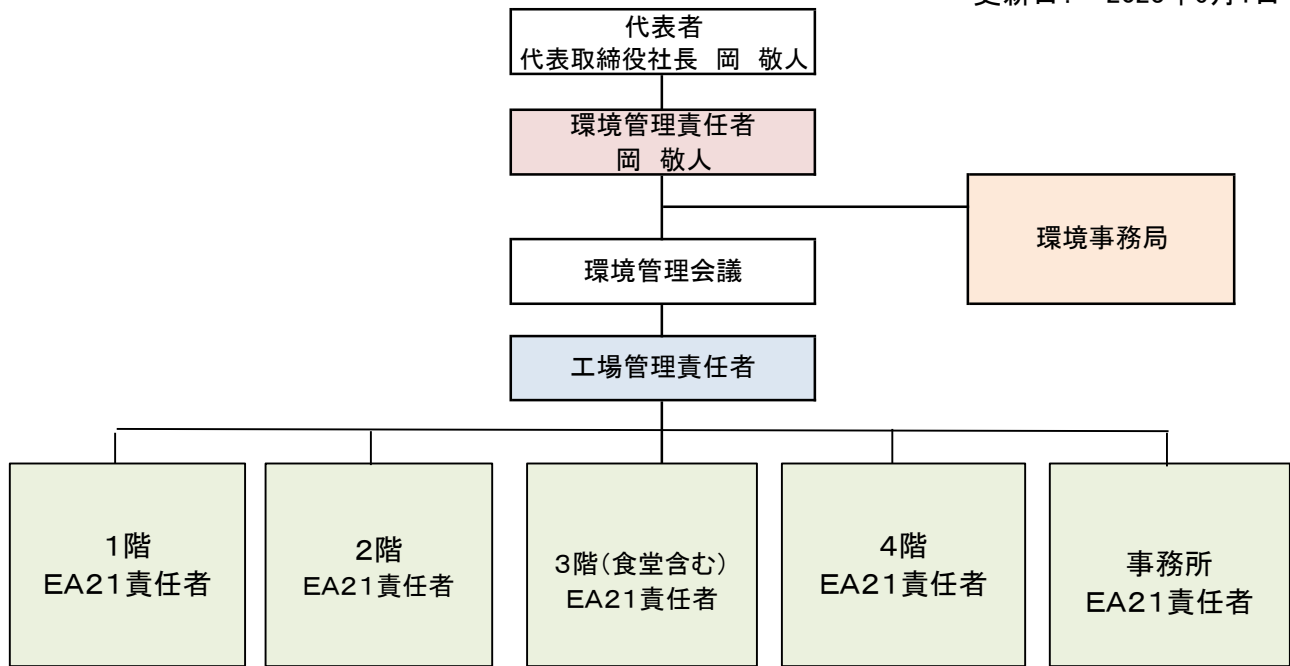
登録事業者名: 有限会社橘金属製作所
対象事業所: 本社

対象外: なし 全社(全組織・全活動)認証範囲

活動: カーテンレールと関連部材の製造及び販売

□実施体制図及び役割・責任・権限

更新日： 2023年6月1日



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	当社の環境経営最高責任者として、次の役割を負う。 (a)環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。当該責任者には、現在の責務に関わりなく、責任と権限を明示する。 (b)環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。 (c)環境経営に関する基本理念・長期戦略・基本方針を制定する。 (d)環境経営システムの構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要あれば改訂を指示する。
環境管理責任者	環境経営システム管理責任者として、次の役割を負う。 (a)環境経営システムの構築・実施・管理。 (b)環境関連法規等の取りまとめ票の確認。 (c)環境目標・環境活動計画書を確認。 (d)環境活動の取組み結果を代表者へ報告。 (e)環境活動レポートの確認。
環境事務局	環境経営システム実施責任者として、次の役割を負う。 (a)代表者及び環境管理責任者の補佐。 (b)環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。 (c)環境目標・環境活動計画書原案の作成。 (d)環境活動の実績集計。 (e)環境関連法規取りまとめ表の作成。及び遵守評価の実施。 (f)環境関連の外部コミュニケーション・内部コミュニケーションの窓口。 (g)環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)。 (h)環境経営システムの実施。 (i)環境方針の周知。 (j)従業員に対する環境教育の実施。 (k)環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 (l)取組み項目の手順書の作成及び運用管理。 (m)特定された緊急事態への対応の為の手順書作成。テスト・訓練を実施、記録作成。 (n)問題点の発見、是正、予防処置の実施。
EA21工場 管理責任者	工場内における管理責任者として、全員参加による環境経営システムの運用及び管理に責務を負う。 (a)環境活動計画書の内容を理解し、各部署責任者に指示をおこなう。 (b)工場内の安全を確保し、環境経営システムの運用及び管理をおこなう。
EA21各部 署責任者	自己の管理範囲内における環境推進責任者として、環境経営システムの運用及び管理の責務を負う。 (a)工場管理責任者の補佐をおこない。 (b)各部署の責務を一般従業員に認識させる。
全従業員	代表者の環境方針を踏まえてEA21各部署責任者の指示に従い、環境経営システムの運用に尽力し、また、職場だけでなく家庭及び地域社会にも環境活動が波及していくようにする。
環境管理会 議	代表者・環境管理責任者・EA21事務局・工場管理責任者が集まり、1年間の環境活動の指針を確認を行い、全従業員にその内容を周知し、実行していく。会議時期は、毎年5月頃に行う。また緊急事案がでた場合その都度行う。

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	37,477	33,672	32,416
廃棄物排出量	kg	6,252	5,412	4,477
一般廃棄物排出量	kg	941	1,058	1,315
産業廃棄物排出量	kg	5,311	4,354	3,162
総排水量	m ³	186	149	132

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.318 kg-CO₂/kWh

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値 (基準年度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	28,473	25,341	24,359	25,057	24,772
	基準年比	2020年	89%	86%	88%	87%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	8,695	7,912	8,057	7,825	7,738
	基準年比	2020年	91%	93%	90%	89%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	37,168	33,254	32,416	32,882	32,510
一般廃棄物の削減（可燃物）	kg	404	396	1,315	392	388
	基準年比	2020年	98%	325%	97%	96%
産業廃棄物の削減	kg	4,932	4,784	3,197	4,735	4,685
	基準年比	2020年	97%	65%	96%	95%
水道水の削減	m ³	223	216	132	214	216
	基準年比	2020年	97%	59%	96%	97%
グリーン購入の推進	慣例化したため目標は設定せず活動する。					
環境製品の研究開発・生産・販売	kg	13,914	14,610	10,691	15,305	16,001
	基準年比	2020年	105%	77%	110%	115%
	本	1,917	2,013	715	2,109	2,205
	基準年比	2020年	105%	37%	110%	115%
社内IT化の推進、生産性向上	活動目標					

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO₂

	Scope1 化石燃料	Scope2 電力	合 計	対 策
2020年（100%）	8.7	28.5	37.2	省エネ
現在	8.1	24.4	32.5	省エネ+ハイブリッド車
2030年（50%）	6.0	12.6	18.6	省エネ+電気自動車+再エネ電力
2050年（0%）	0.0	0.0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度の計画	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減			
数値目標	○	基準年見直し	月ごとの目標達成率が高く年間電力使用量の大幅な削減を成功させています。来季も電力の使い方に気をつけて継続していきます。
・空調温度の適正化（冷房27℃ 暖房23～25℃）	○	継続	
・不要照明の消灯（啓発シール）	○	継続	
・機械設備の起動電力の削減（リレー入力）	○	継続	
・生産工程の待機時間短縮	○	継続	
・空気圧縮機のエア洩れ点検（日常）	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	×	基準年見直し	目標を達成していませんが、目標値とほぼ数値が変わらず着実に削減できているので、次年度は目標達成できるように取組んでいきます。
効率的な配送（日常）	○	継続	
在庫の管理を徹底し、無駄な配送をなく	○	継続	
車両定期点検	○	継続	
燃料、オイル、バッテリー等の点検。（日常）	○	継続	
停車時アイドリングの禁止（日常）	○	継続	
一般廃棄物の削減（可燃物）			
数値目標	×	基準年見直し	次年度より2023年度の実績数値を基準年度にして削減目標を計画していきます。
・分別の徹底（日常）	○	継続	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	継続	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	継続	
・梱包材の再利用（日常）	○	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標	○	基準年見直し	生産数の減少により産業廃棄物削減になっている数値です。次年度は基準年度を2023年度の実績数値を使用して削減目標を設定します。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	継続	
・素材別ボックスの設置	○	継続	
・リサイクル業者の開拓	○	継続	
・金属くずは、売却	△	継続	
水道水の削減			
数値目標	○	基準年見直し	年間を通して目標を達成しています。基準年度・目標値は、これ以上下げると一般家庭よりも少ない設定になってしまうので、現状の設定値で今後も取組んでいきます。
水道の節水	○	継続	
水道蛇口の管理	○	継続	
水道水の過剰放水厳禁	○	継続	

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度の計画	取組結果とその評価
環境製品の研究開発・生産・販売			
・環境負荷の関連部材のPR	○	継続	年間を通して減少傾向にあり累計でも基準年度比約2割減少しています。次年度は挽回できるように努めていきます。
・環境配慮製品の販売促進	○	継続	
・完全ワタチブラケット重量	×	継続	
・静音型カーテンレール（Sシリーズ）販売促進	×	継続	
社内IT化の推進、生産性向上			
・システム環境の整備	○	継続	自社ホームページの認知が広がっていき、現在はNET販売サイトにも掲載されるようになりました。（実績はまだ公表できるほどではありませんが）次年度は2年ぶりに商品カタログを作成しレイアウトを大幅に改善します。
・webサイトの充実	○	継続	
・コミュニケーションの充実（会議、社員意識向上）	○	継続	
・5S、マニュアル、手順書の整備。	△	継続	
・品質、安全衛生との統合	△	継続	
社会貢献			
・近隣清掃（年2回）	○	継続	例年通り実施しました。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法・振動規制法	空圧機
フロン排出抑制法	業務用空調機
消防法	危険物の保管
顧客調達基準	クレーム・返品がないこと

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありませんでした。

□環境に関する苦情・要望等

環境に関する苦情等はありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定	火災の発生
日 時	2024年5月30日
内 容	火災発生を想定した避難訓練
試行・訓練の内容	☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練 日時を知らせず、抜打ちにて避難訓練をおこなう。
参 加 者	全員
実施責任者	環境管理責任者 岡 敬人
試行・訓練結果の評価	手順書の変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 問題なく避難訓練をおこなう事が出来ました。避難所要時間：59秒
実施状況の様子	各自、訓練を真剣に取り組んでいました。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年度終了時でも申していますが、今だ資源・エネルギーコストは上昇した状態が続いています。今年度は、エネルギーのひとつである電力の使用において電気料金と直結してくる契約電力をいかに下げる事ができるかという事に焦点をあて取組んでいました。その中で昨年度9月の時点で契約電力が上がっていました。9月の電力量が8月の電力量よりも少ないのに使用電力が上になっていました。原因は高圧電力の使用開始が同時になる機会が多かったのが原因でした。その事を踏まえ電力使用が社内で重ならないように時間差をつくり電力使用をおこなうように各部署で取組み契約電力を下げる事に成功しました。この事から普段の使用量だけでなく使い方も考慮していく必要性を強く感じるようになりました。そうする事により今回のように電気料金を下げるようになりました。自動車燃料においても自動車燃料の支払いの仕方によりリッター当りの料金を下げれるようにしています。今後もエネルギー使用においていろんな可能性を多方面にみながら常にアンテナを張って情報を吟味していくようにしていきます。一般廃棄物の廃棄量が基準年度比も多く、産業廃棄物の廃棄量に関しては、生産量が落ち廃棄量が大幅に減少した為、次年度より、環境経営計画の基準年度を2023年度に変更して取組んでいきます。

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制

☒変更なし
☐変更なし
☒変更なし

☐変更あり
☒変更あり
☐変更あり

実績を踏まえて見直す

□環境活動の紹介

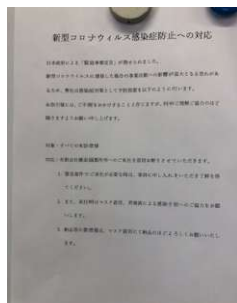
- ① 当社工場内の照明を水銀灯からLED照明へ変更
当社事務所の照明を蛍光灯からLED照明へ変更



- ② 工場内及び事務所内空調機(エアコン)を最新の省エネタイプへ変更しました。



- ③ 新型コロナウイルス対策をおこないました。



マスク



フェイスガード



アルコール消毒液

新型コロナウイルスの弊社の対策として、ソーシャルディスタンスの推奨の他マスク入手困難時にマスクを従業員に配布。弊社協力会社から頂いたフェイスガード配布。工場・事務所・食堂の入り口にアルコール消毒液の設置。感染防止の為、日々の手洗いうがい及び自己管理の徹底化。

④ 弊社ホームページの作成

弊社のホームページを大幅改訂。
弊社商品カタログをホームページ上にあるデジタルブックにて閲覧できるようになりました。
合わせて、弊社コンセプトブック(会社案内)、日本産業規格についても閲覧でき、
もちろんこのエコアクション21「環境経営レポート」最新版も閲覧できます。



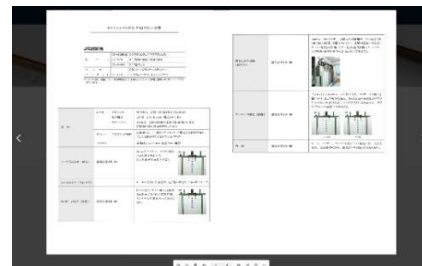
ホームページ メイン



デジタルブック



商品カタログ デジタルブック



品質 デジタルブック



デジタルブック
環境経営レポート

ホームページ上で最新版を閲覧できるようになりました。

⑤ SDGs宣言

弊社ホームページよりSDGs宣言をおこないました。



環境経営レポート上にも掲載